



## 「池子の森自然公園 ホタルの会通信」

(2024年1月25日)

編集:池子の森自然公園「ホタルの会」

### ▶ 冬のホタル幼虫調査②

1月22日(月)、この日は月齢11.0、満月に近い夜でしたが、曇天予報が出ていたので幼虫調査を実施しました(調査開始早々から小雨あり☹️)。

久木池上流①では秋口からヘイケボタルとスジグロボタルの幼虫の確認が続いていましたが、今回はどちらも確認できませんでした。当日は気温、水温とも12月の調査時を上回っていましたので、幼虫が見付からなかったのが気温、水温のためではないと思います。落葉の下などでじっとしているのだろうと推測しました(図-1)。

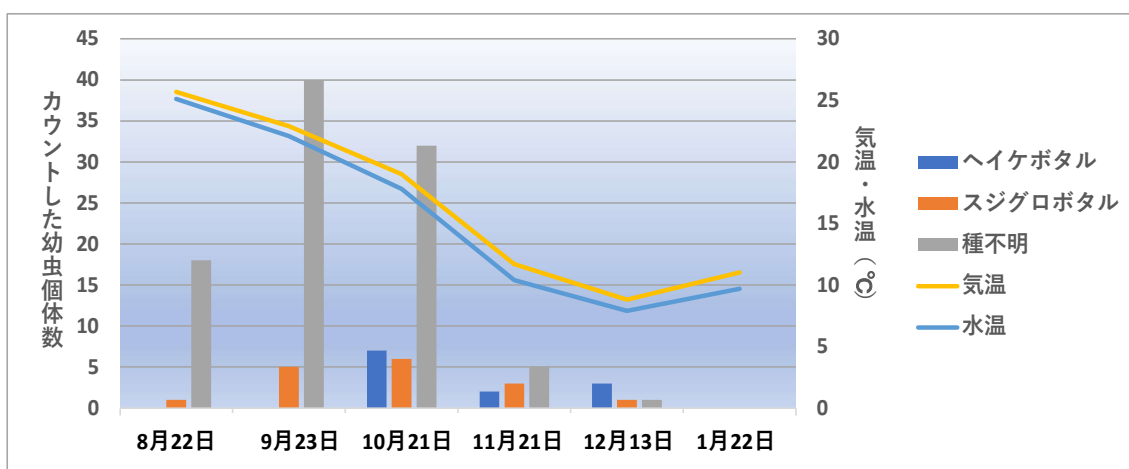


図-1 ホタル幼虫調査、久木池上流① (1月22日)

今回の調査で確認されたのは久木池上流②のゲンジボタル幼虫1個体のみでした。終齢に達したと思われる大きな幼虫で、3月の降雨日に上陸してくれることでしょう。

昨年ずっと見られていたスジグロボタルも今回はどの地点でも姿を現しませんでした。この時期はヘイケボタルと同じように活動停止時期なのでしょう。



終齢に達したと思われるゲンジボタルの幼虫 (1月22日、18時47分)

### ▶ ホタル研究の進展

1月24日21時NHKBBS1で再放送の「発光生物、進化の謎」を見ました。中部大学大場祐一教授のキノコ、ホタルの発光に関する研究が紹介されており、ルシフェリン-ルシフェラーゼ反応等の新しい研究成果があることを知りました。また、長崎県五島列島には発光パターンが1秒のゲンジボタルが存在しており、西日本の2秒、東日本の4秒の種は、今後それぞれ別種として分類されるとの情報にも驚きました。